

大いちょう

令和8年2月27日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

魅せる会(表現の会)及び懇談会にご参加くださりましてありがとうございました！



「今を生きる3歳児」が、「次はお家の人が見に来てくれる！」と嬉しそうに少しだけ先を見て迎えた「魅せる会(表現の会)」は、子どもによっては予想とは違っていったようで、「こんなにたくさんの方が・・・」「今は、自分のタイミングじゃないんだ・・・」「予想はしていたけど、イメージした画像(多くの観覧者)と違う・・・」など、気持ちがついていきにくい姿も見られました。見られることで、気持ちが高揚したり、緊張したりと、一人一人受け止め方はそれぞれでした。でも、そのような不安や高揚の気持ちを素直に表現できることがとても大切であると考えています。素直に表現したことを、大人に丁寧に受け止めてもらえたという体験があって初めて、自分とは異なる思いをもつ他者を受け入れることができるようになります。だからこそ、「何かになる」ことも、「今日は違う何かになる」ことも、「お話通りでない」ことも、可能な限り、子どもの思いを受け止めながら「魅せる会」までの日々を過ごしてきました。当日の姿はもちろん大切ですが、そこまでのプロセスや終わってからまた新しいお話で表現しようとする子どもたちの育ちを大切にしていきたいと思っております。



4歳児は、3歳児とは異なり、観られることも、魅せることも少し意識しながら取り組んできました。しかし、お家の人に観てもらうことが嬉しい反面、恥ずかしさも生まれており、十分に力を発揮しきれなかったり、(やりたくて)頑張り過ぎて疲れ気味になったりするお子さんもいました。でも、取り組みの中で、どんなお話でやりたいのか、どんな曲をやりたいのかなど意見の違いや同じを感じながら少しずつ折り合いをつけていく姿や、題材や役を自分で選択することで、その役割を果たそうとする姿などが、3歳児とは異なる育ちを感じました。1年前は、不安や恐れの方が強かった感情も、人に喜んでもらえる嬉しさや、友達と表現し合うことの面白さを感じて、演じたり、作ったり、歌ったり、演奏したりすることに自ら取り組む姿もたくましく思えました。



5歳児は、「魅せる会」の前に体調を崩してお休みする子どもが多かったことから、一人一人がやりたい題材は出ていたものの、まだ皆の対話の中で決定することができていない状態が続きました。それでも、「最後の魅せる会は、みんなで決めたい」という子どもや担任の思いから、皆が出席するのを待

ってお話の題材を決定しました。そのため、少しスタートは遅くなったのですが、子どもたちの「やりたい！」が詰まったミュージカルや劇やダンスや歌（手話）、合奏でした。子どもが創り出す劇のため、普段の子どもたちの個性がところどころに散りばめられていましたね。役の中に素の子どもが見え隠れするのが面白かったです。ドキドキする（緊張する）からだけではなく、声の大きさは人それぞれで、地声が大きい人もいればもともと音量が小さい人もいます。一応、私たちも「お客さんに届くように…」と声を張ることを促したりしましたが、一人一人の精一杯と自然体を認めたいという思いもあり、無理して大きい声を出させないことを尊重していた面もあります。振り返りの場面で「自分のことをどう思ったか？」を尋ねるとほとんどの子が、「うまくできた」「前より良かった」と高評価でしたので、自身でそう思っていることは大きな自信につながるとも考えていました。それぞれの子どもの精一杯を認め合えることが、一人一人のよさを認め合える豊かな集団であると思っていますので、ご理解いただけましたら幸いに思います。

細かいこれまでの経緯については、学級懇談会やホームページ等で、担任からお伝えさせていただいている通りです。いつもいつも温かい目で見てくださいている保護者の方の言葉に、心より感謝いたします。たくさん励ましのお便り（アンケート）もありがとうございました。担任も人間ですから、このような励ましや称賛の言葉に元気づけられ、自信となっていきます。ありがとうございました。

新荒田川にバードウォッチングに出かけました！

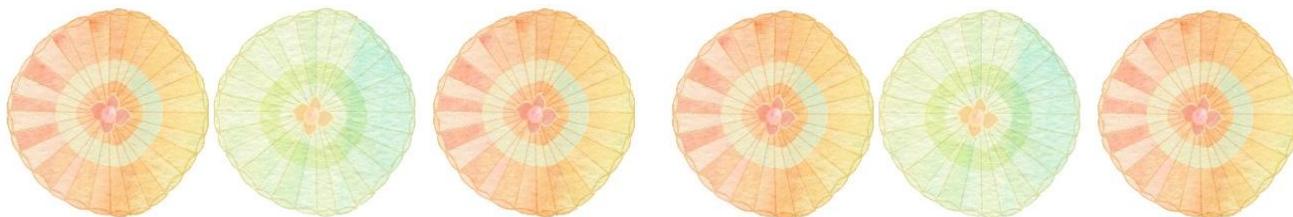
2月26日の朝、新荒田川にバードウォッチングに出かけました。これまで、子どもたちは、虫や川の中の生き物に興味をもち、触れ合ったり知ったりする面白さを味わってきましたが、鳥については知らないことがほとんどでした。5歳児の子どもが、以前から鳥に興味をもっていて、保護者の方も温かくその興味に付き合ってくださいっていたことから、新荒田川に素敵な鳥がたくさんいることを絵に描いて教えてくださいました。



その絵があまりにも素敵で、子どもたちも嬉しくて興味をもち始めていたので、行きたい子ども（親子）で出かけることになり、この企画が実施されました。

地域の小森先生（元岐阜市科学館館長、本園の学校運営協議会委員）にもお願いしてご同行していただき、30分くらいの予定が、楽しすぎて50分程度楽しむことになりました。「ダイサギ、コサギ、オカヨシガモ、コガモ、オオバン、ハクセキレイ、カワラヒワ、シジュウカラ、カワラ、ムクドリ…」などに巡り合うことができました。こんなに多くの種類の鳥が生息していたんですね。全く知らなかったです。双眼鏡や望遠鏡、ズーム機能の高いカメラなどをご準備くださったおかげで、肉眼で確認した後、拡大してその姿形、色などをみることができ、「うわ～、すごい～」と思わず心の声がこぼれるなど、そこには感動している子どもの様子がありました。双眼鏡で対象をとらえることって結構難しいと思うのですが、意外に上手に操作しておりびっくりです。また、ひとつ地域の新荒田川の魅力を知るこ

とつながり、本当に心が浄化された楽しい時間でした。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。



《3月の保育について》

【3歳児】

- 自分の気持ちや感じたことをしぐさや言葉で表現する。
- 自分のことを自分でしながら、年中児になることを心待ちにする。
- 先生や友達と一緒に春見つけをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。

【4歳児】

- 友達の中で自分を伸び伸びと表現し、共に過ごす楽しさを感じる。
- 先生や友達に自分の思いや考えを言葉で伝える。
- 年長児の生活を意識し、進級を楽しみにする。



【5歳児】

- 1年生になる期待と喜びをもって友達と一緒に遊んだり、共にいることを楽しんだりする。
- 自分なりの願いをもち、それを達成するために遊びや生活の中に様々な環境を取り入れ、遊びを創り出す喜びを味わう。
- 思いや考え、また経験したことを先生や友達と言葉で伝え合う。



お知らせとお願い

◆令和8年4月の預かり保育について

令和8年4月分は、3月17日までが受付になっております。現状では、新4歳児、新5歳児の施設等利用給付認定（2号）の申請者の数が、20名を超えていないことを踏まえると、3月に受付をしてもよいかとは考えております。しかし、今後、施設等利用給付認定（2号）の申請者の数が増えてきた場合には、3月受付は難しくなる可能性があります。

また、3月時点の受付者数と、4月当初の新3歳児の施設等利用給付認定（2号）の申請者数を合わせて、20名を超えていた場合には、施設等利用給付認定（2号）の申請者が優先となりますので、申し訳ありませんが予めご承知おきください。

預かり保育のニーズが年々高まっている現状は、私たちも教育委員会もよく理解しています。そのため、毎年預かり保育の拡充を要望しているのですが、なかなかすぐに受け入れてもらいつらい状況が続いています。それでも、諦めずにあの手この手を使って要望していきますので、どうぞご理解ください。そして今後も、要望のためのアンケートを取らせていただきますので、その時はご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆虐待・性被害防止について

近年、職員による虐待や性被害などが話題となっています。子どもを真ん中におき子どもの主体性を大切にしている本園においては、あってはならないことであり、職員に対する研修等についてもしっかりと行っております。

お子様への対応について、気になることがあれば、担任だけでなく、園長をはじめとし、教頭、主任、養護教諭などお気軽にご相談ください。

また、虐待・性被害防止の対応について、幼稚園に相談しにくいことがありましたら、下記にご相談いただくことも可能です。

岐阜市教育委員会事務局 幼児教育課 Tel 058-214-7124

メールアドレス youji-kyouiku@city.gifu.gifu.jp